

## 第11回わかやま住民要求研究集会第4分科会農林水産業レポート

# 担い手づくりの模索 —和歌山県の農林漁業の現状と課題

和歌山大学食農総合研究教育センター 客員教授 湯崎 真梨子



湯崎真梨子客員教授

多様な生産と生活主体（＝担い手）から成る地域には、生産と暮らしのための規範や共同組織があり連帯することで維持し、この営みの中で地域の文化、環境、生態系も保全されてきた。

近年の激しい風景の変容に、人々が耕作する意思をもはや持たず生業を次々と手放している現実を突きつけられる。

和歌山県の中山間地域を行くと荒廃農地にひんぱんに遭遇し、都市近郊の優良農地は住宅地に転用され、山の斜面にはメガソーラーが林立している。近年の激しい風景の変容に、人々が耕作する意思をもはや持たず生業を次々と手放している現実を突きつけられる。

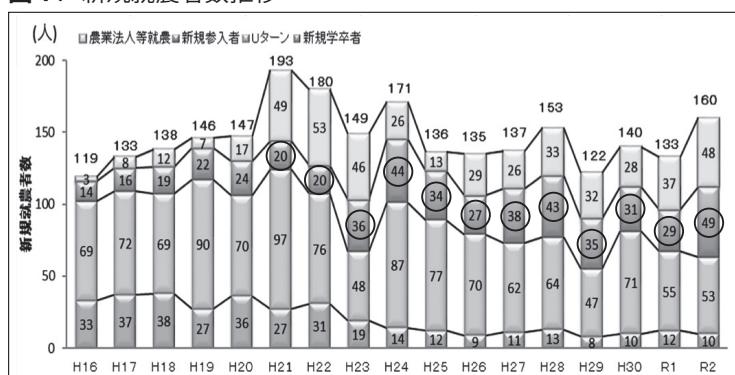
### 担い手と地域問題

12月26日に開催された研究集会で農林水産業の分科会レポート。和歌山県の農業・林業・水産業は、次の世代への「持続可能性」が脅かされています。和歌山県の実態に根ざした「担い手づくり」について現状と課題について考察します。

こうした地域構造が瓦解しつつある。地域社会の維持困難、空白化の根本には「担い手」の枯渇があり、担い手確保が喫緊の課題となっている。

### データに見る 和歌山県の担い手の現状

図1 新規就農者数推移



出所：和歌山県農林水産部資料に加筆

### 目次

第11回わかやま住民要求研究集会第4分科会農林水産業レポート  
担い手づくりの模索—和歌山県の農林漁業の現状と課題  
和歌山大学食農総合研究教育センター 客員教授 湯崎真梨子 ..... 1

第11回わかやま住民要求研究集会基調講演②  
コロナ禍を乗り越え、持続可能な地域経済再生を！  
駒澤大学名誉教授 吉田 敬一 ..... 3

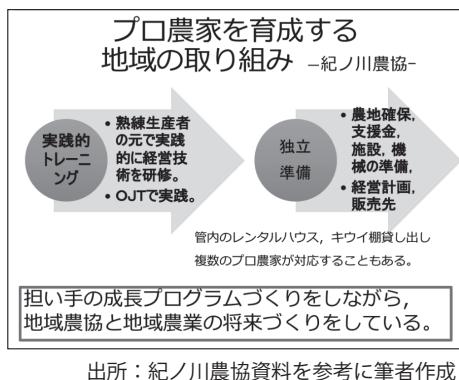
和歌山の地域おこし協力隊④ ..... 8

## わかやま住民と自治

発行／和歌山県地域・自治体問題研究所  
和歌山市太田2丁目14-9 太田ビル203号  
TEL・FAX 073-488-3127  
jichiken@crux.ocn.ne.jp 2022年4月号

2022年3月25日発行 第337号 (月300円)

図2. トレーニングファームの取り組み

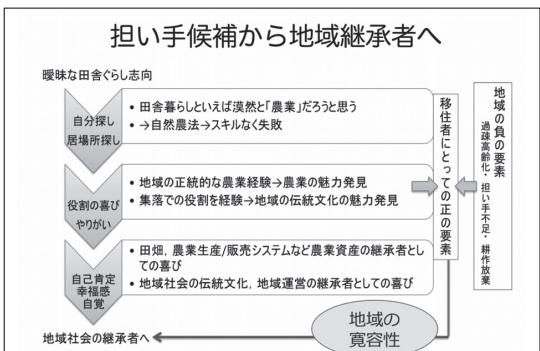


出所：紀ノ川農協資料を参考に筆者作成

2020年の新規就農者は60人の内訳は新規学卒者6%、Uターン33%、新規参入者31%、農業法人就農者30%の割合である。新規就農者の約7割が20代、30代で、約7割が果樹を基幹作物としている。有田エリアには全体の約3割44人が就農し、そのうち25人が法人就農である。果樹や施設野菜など実績ある産地への就農では、県が提示する就農5年後の所得300万円（労働力2人）の可能性が高く、新規就農の基幹作目として選ばれている。

和歌山県の販売農家数は2015年10年に23千人、2020年17千人、年々減少傾向にある。担い手の成長プログラムづくりをしながら、地域農業の将来づくりをしている。毎年100人以上が新規就農しているが、減少の原因として選ばれている。

図3. 移住者の成長プロセス



出所：筆者作成

## 担い手確保と 地域の寛容性

2019年度常用雇用者373名のうち40～50代が56%占め、経験21年以上は12・6%であり、作業班は経験の浅い就業者で構成されている。それゆえか、労働災害の実質発生率は上昇している状況である。現場では従来の「見て覚える」式の指導では新人に

地域の意識の問題に焦点を当ててみたい。

\*参考  
和歌山県農林水産部経営支援課、林業振興課、水産振興課による資料と聞き取り  
和歌山県新規就農支援サイト「あぐりわかやま」  
<https://agri-wakayama.com/>  
紀ノ川農協トレーニングファーム部会「ふたば塾」  
<https://www.kinokawa.or.jp/futaba-juku/>  
『地方創生のファクターX』  
LIFULL HOME'S 総研、2021

が「地域の寛容性」である。若者を応援する自由な気風は担い手として地域への参入を動機づける重要な要素である。担い手確保のためには、育成プログラムや資金支援などに加え、保有する技術と資源を惜しみなく与え本気で応援する「地域の寛容性」が無視できない。自らの地域性を見直すことも大事である。

地方からの人口流出の要因をみると、「地域の寛容性」を測ったシンクタンクの調査結果がある。その地域

第11回わかやま住民要求研究集会基調講演②

# コロナ禍を乗り越え、 持続可能な地域経済再生を！

駒澤大学名誉教授 吉田敬



吉田敬一駒澤大学名誉教授

## 自治体の権限と 産業振興策の充実

けれども問題は、その自治体の能力を發揮していくための人的資源で、かなりやばいことになってしまった。これは平成の大合併ありましたね表2を見てもらつたら分かりますけれど、1999年には3232あつた市町村が、2010年、1727ほぼ半分になつてしまつた。平均人口を見てみると、ほぼ2倍。平均面積これも2倍になつてゐる。自治体労働者、平成の大合併で、人員増えてなくて、予算減らされて、守備範囲が広がつてきてる。医療とか

やると、現場が見えない自治体づくりになつてしまふ。日本のものづくりの現場は元々ものすごく強かつた。三現主義、3つの現、現場、現物、現実です。ところがデジタル化とすると全部それが数値化され、技能熟練が解体され、

いかん。産業振興が進んでいた昔でも、大田区とか墨田区では、僕らも一緒に調査に入つた。中小業者は忙しいわけ。仕事終わつたあとで工場へ行つた、そこでヒアリングして、どうしたらええかとか、どことネットワーク組めそうやとか、もうふらふらになるわけ。

部口ーカリゼーション、地域特性があるわけ。そうすると地域産業振興をやろうと思うと大型合併なんかやつたら

## **地域の実態に即した 地域産業振興**

イタリアの小さな田舎の食品加工業者でもデジタル技術をうまく使つて、ええ品物を海外に直販している。でも基本は技能だし、間に大手は入らない。なぜ大手が出てこないかというと、量が限定されている。量を拡大していくと規格化し、どうしても化学肥料とか合成物質を使う。そんなのを否定するのがスローフード運動発祥の地のイタリア。ゆつくり食べ、ゆつくり暮らせばええやないか。それをどうも日本人というのはアメリカナイズされてしまつたので、ファーストフードになつてい

る。最悪なんは、先進国で日本とアメリカぐらい。ナショナルチエーンの飲み屋と、それからナショナルチエーンのハウスメーカーが家をつくっている。ヨーロッパ行つてナショナルチエーンの飲み屋探したら、ないです。フランスとか行つたって、シェフは3店舗以上つくらない、自分で味付けできないから。あるいは住宅でも、プレハブ住宅に行つても、探すのが難しい。日本は結局、「食」と「住」でナショナル展開していると

教育はナショナルミニマムがあつて、憲法25条で保障され、教育とか福祉の水準はつかみやすい。しかし、産業振興の場合は、新宮市と和歌山市まるつきり違う、ナショナルミニマムでないのです。全

個性がなくなる。こんなんで先進国型の付加価値の高い産業振興は絶対できません。自治体の道州制、デジタル化が進んでいくというのは、誰のために、何のためかと考えてみると、これは地域住民とか中小商工業とか、真面目に頑張っている人間とか経営者にとつたら何の得もありません。

**表2** 平成の大合併による市町村数の変化

市町村数	1999(平成11)年	2010(平成22)年
市町村数 (人口1万未満)	3,232 (1,537)	1,727 (457)
平均人口(人)	36,387	69,067
平均面積(km <sup>2</sup> )	114.8	215.4

資料) 総務省 HP より作成

こに頼つてゐる。もう一遍これは見直していかないかん。ローカル循環型の地域経済をきつちりつくつていかないかん。自治体の在り方問題もある。地域を構成する住民、中小企業、金融機関、NPO、自治体労働者とか、その地域を形成している人間全体で、暮らしをどうしていくのか、産業をどうしていくのか、雇用をどうしていくのかということをきつちり考えていく、そういう運動、そしてこの集会も改めて位置付けしていく必要性があるというふうに思ひます。

## 行き過ぎた グローバル化に喘ぐ

けれども、表3をちょっと見  
ていただきたい。経済という  
のはどこの国でも、循環、お  
金があつて原料を仕入れて物  
つくつて売つて売上げがあつ  
て、お金戻つてきたらもう一  
遍、銀行に預金しよという形  
で、お金の動きが、物の動き

表3 経済循環とは

資金調達⇒労働力・原料調達⇒生産・加工⇒卸売機能⇒小売機能⇒売上代金の還流⇒再投資の流れ

### 経済循環の3つのタイプ

生産・供給される製品・サービスの特徴および市場規模に応じて

- ①ローカル循環：地場産業に代表される地域単位での企業間生産分業構造＝地域経済循環
  - i) 生産と市場が地域的に限定されたタイプ（地産地消型）
  - ii) 全国的な市場ニーズを持ち、生産過程はローカル循環を基本とするが流通過程を含めた循環を考慮するとナショナル循環を構成するタイプ（地産外消型）
- ②ナショナル循環：20世紀の国民経済レベルでの企業内地域分業構造＝国民経済循環
- ③グローバル循環：トヨタに代表される世界規模での企業内国際分業構造＝世界循環

とつるんで、動いていく流れが3つある。1つはローカル循環、地域を単位としてくるくるお金と仕事が回っていくという循環です。これは基本

経済は大きくなつた。安くても  
良い物を作つてきた。だから  
元々日本の大企業は高級品を  
狙わなかつた。自動車にした  
つてトヨタがフェラーリとか

つていては、日本国民の疲弊化が進んでいくだけ。しかも悪いことに、アメリカの場合には、GMとかフォードは海外へ出ていく、けども

ていくし、国民所得、賃金は  
増えてない。そうすると、ア  
メリカとかドイツとかイタリ  
アなどがお得意の高級品市場  
日本で作るにはロットが少な

すぎるから、輸出すればいいとなる。そういう点ではグローバリゼーション、新自由主義は、もう完璧に誤りの段階に入つてきていると理解しておく必要がある。今までが大体基本です。そんなあほなことやつてあるからG7諸国で見たGDPの伸び率、日本ダントツで低い、2000年を100として2019年、コロナ始まる前の年までで、日本、10年かけて3・9パーセントしか伸びてない。当たり前なのです。要するに大企業が海外へ出て行つているわけです。ものづくりを国内で放棄している。よそはちゃんと双方向の循環で、特にEUなんかは、高値市場に特化するわけです。フェラーリなんて、1台当たり、トヨタの高級車10台とトントンの値段になつていて。フェラーリとかランボルギーニとかマセラティとか、あんなもん1年間に1万台も作つてない、ロットが小さい、だからあれ全部、地域の中小企業が集まって、当然、デザイナーは洒落た人がいてますけど、地域循環型で高値市場に特化しているわけ。

## 日本の文化が乗つた ものづくりを

日本でもできるはずです。なぜかと言うと、イギリスのロールスロイス見たら、イギリスやと思うよ、あのデザインを見たら。ベンツのSクラス見たら質実剛健、真面目なタイプの金持ちが乗るタイプ。フェラーリとかランボルギニは女性にもてるタイプの人々が乗る車、要するに派手ですよ。文化が乗つてているわけです。高級品市場つていうのは、ポンネット開けて中の性能が良いだけでは駄目なのです。その車を見たときに、こういうタイプの人が乗るものやとな付加価値が乗つかつてている。だからベンツのSクラスとかフェラーリがモデルチェンジしても、フェラーリや、ベンツやと分かるわけ。ところがトヨタのレクサスがモデルチエンジしても、レクサスなんかフロンティグエンジしても、レクサスなんかもクラウンなんかフロントグリルのしのマーク見ないと分けの美しさ、そのときだけの美しさを表現できるというの

です。あの頃、印象画が出てきた。画家の印象を中心にしてデフォルメしてものをつくる。浮世絵をマネとかモネが見て、あれデフォルメそのもの、写楽とか見ても、バラン生とか出でていった。パリでフランスやオーデザイナーとして見たら質実剛健、真面目なタイプの金持ちが乗るタイプ。アッシュションデザイナーとして評価されたかというと、和の衣服というのは三次元の立体裁断でしょ。誰でも着れる。ところが和服は体が三次元で立体やのに、二次元の直線裁断になつていて。着るときに練が要るわけ。熟練要るけども、一枚の和服で、そのときの雰囲気で着こなしができる。民族衣装というのは和服だけのものです。留め袖でも式場行くとき、隙のないような形で着付けして、終わつたあと同窓会で昔の男と会うとき、ちよつと襟ぬいて色っぽくします。着こなしができる、私はけの美しさ、そのときだけの美しさを表現できるというの

です。あの頃、印象画が出てきた。画家の印象を中心にしてデフォルメしてものをつくる。浮世絵をマネとかモネが見て、あれデフォルメそのもの、写楽とか見ても、バラン生とか出でていった。パリでフランスやオーデザイナーとして見たら質実剛健、真面目なタイプの金持ちが乗るタイプ。アッシュションデザイナーとして評価されたかというと、和の衣服というのは三次元の立体裁断でしょ。誰でも着れる。ところが和服は体が三次元で立体やのに、二次元の直線裁断になつていて。着るときに練が要るわけ。熟練要るけども、一枚の和服で、そのときの雰囲気で着こなしができる。民族衣装というのは和服だけのものです。留め袖でも式場行くとき、隙のないような形で着付けして、終わつたあと同窓会で昔の男と会うとき、ちよつと襟ぬいて色っぽくします。着こなしができる、私はけの美しさ、そのときだけの美しさを表現できるというの

です。あの頃、印象画が出てきた。画家の印象を中心にしてデフォルメしてものをつくる。浮世絵をマネとかモネが見て、あれデフォルメそのもの、写楽とか見ても、バラン生とか出でていった。パリでフランスやオーデザイナーとして見たら質実剛健、真面目なタイプの金持ちが乗るタイプ。アッシュションデザイナーとして評価されたかというと、和の衣服というのは三次元の立体裁断でしょ。誰でも着れる。ところが和服は体が三次元で立体やのに、二次元の直線裁断になつていて。着るときに練が要るわけ。熟練要るけども、一枚の和服で、そのときの雰囲気で着こなしができる。民族衣装というのは和服だけのものです。留め袖でも式場行くとき、隙のないような形で着付けして、終わつたあと同窓会で昔の男と会うとき、ちよつと襟ぬいて色っぽくします。着こなしができる、私はけの美しさ、そのときだけの美しさを表現できるというの

すぐ乗つかるのがアメリカやニューヨークや、ニューヨークに近代美術館がある、あそこが世界の新しいデザインを集める美術館、そこに持つて行つた。展示会のときに、近代美術館の学芸員、ひと目見た途端に永久保存コレクションに入るということで、ブランド評価が高なる。これも和の発想でもつてライフスタイルを新しく提案していく、普通の地場産業もそういうことを考えてチャレンジしているわけ。そういう点では、地域の生活文化を踏まえて、どういうことが新しく提案できるのか、そういうことを楽しく語り合うような、そういう場を地域産業政策の中つくつていくことが必要だと思ひます。

## 日本経済低迷の原因を中小企業に転嫁する自公政権

時間がかなりオーバーしてきました。次のお話を最後に言つておきたいのは、アトキンソン理論、これからは次から次へ出でてきます。今ちゃん

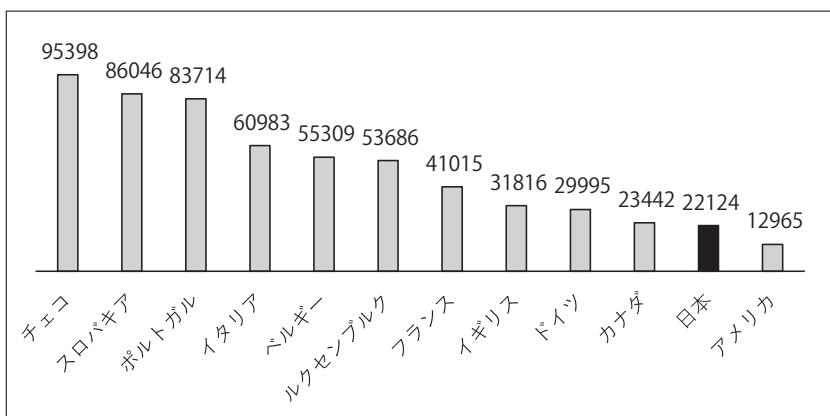
と押さえておく。ポイントだけ言います。アトキンソンが言うのは、アメリカ、ヨーロッパと比べても中小企業が多すぎる。だから減らせと言いました。多すぎないというのは、図1です。OECD、アトキンソンがしょっちゅう出してきてる統計です。先進国の中企業、これ見ると日本は、人口100万人当たり2万2000、一番多いのはチエコで9万5000。日本の後ろにおけるのはアメリカだけです。アトキンソンはアメリカの例出してきどる。アメリカを見ても分かるように日本は多すぎる。そこで、ほんまかいなということで見てみると、このアメリカの場合、自営業を外しているわけです。入れたらどうなるか。これ中小企業府の委託調査で三菱総研がやつたものですが、主要5か国、人口が1000人当たりの数で中小企業を見てみると、アメリカは87、日本は28・5、ダントツで今でも少ない。もう20世紀に入つてからどんどん潰れていつていま

すかというのが物的労働生産性、1人当たりボルトナットを同じ時間で何個付けられましたか。これが物的労働生産性、20世紀の頃は生産性向上といえれば、機械入れたりして1人当たりの生産数量を高めているのは、付加価値労働生産性、1人当たりどれだけの価値、価値ですから賃金部外しているわけです。入れた外しているわけです。入れた

ノルウェーが続く。普通、これ見たら疑問を感じないかんわけ。ルクセンブルクが何で極端に生産性が高いのか、1人当たり。これは上の方に行けば行くほど、法人税が安いのです。タックスペイブン、法人税の安い国に、本社機能を移し、ハイブン、法人税の安い国に、本社機能を移すと、利潤部分はその国に乘つかるわけ。

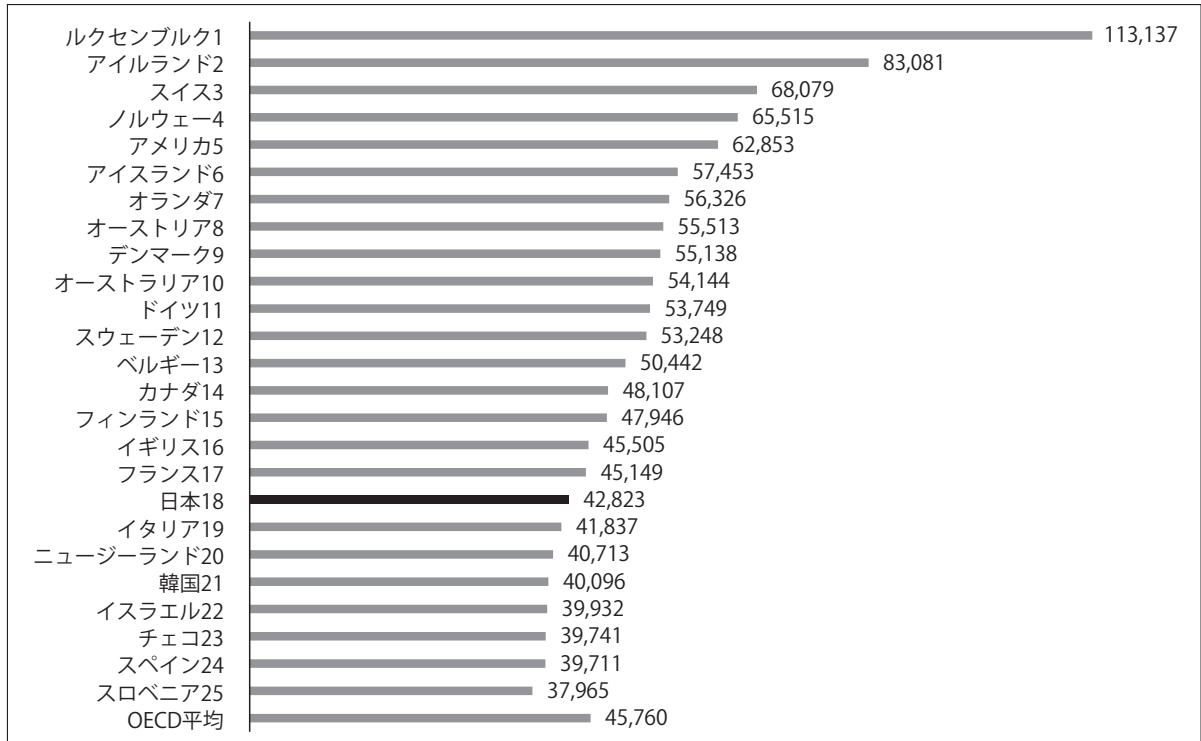
利潤部分はアイルランドとかに持つていて、ルクセンブルクとかアイルランドとかスイスは、大企業向のタックスペイブン向けの特殊な銀行いっぱいある。これは普通の民間の商業銀行と違つて、大企業の資産管理をやるので、手数料がごつつもうかる。ルクセンブルクが一番多いというのは、本社機能が入つて、銀行もどんどん入つてくる。そういう中で人

図1 OECD 主要国の中企業数（人口100万当たり、250人未満、2017年）



注) OECD 資料の中小企業数を2017年の各国人口で割った100万人当たりの中小企業数。

図2 OECD加盟国の一人当たりGDP（2018年：ドル）



が少ない。ほんまの小国です。  
100万人もおらん。ルクセ  
ンブルク人は就業者数の半分  
だけです。ドイツからの越境  
労働者、朝きて夕方に国に帰  
りよる。計算上、越境労働者

利益率が低かつた。それは表4です。日本とアメリカとヨーロッパの大企業の自己資本利益率、資本金に対し利益どれだけ上がるのか。一番上が日本です。真ん中がアメリカです。下がヨーロッパです。ダントツで低いです。日本の大企業の自己資本利益率。何でかと言うと、利益率の低い品物をつくって、低経費率だけれども、販売数量、台数が増えれば利益額は多いのです。だから日本の経済は利益率志向でなく、利益額志向できた

リス、フランス、日本、イタリアとそんなに差がなくなつてくる。それでも低いといふならその責任は誰にあるのかと言うと、さつき言つたように、大企業の金もうけの構造にある。元々日本の大企業は

ほかの国で数えたのを持つてきて、働き手の半分は外国人で分母の人数から減るから、高くなるのは当たり前なのです。イルランドは石油が取れる。付加価値高くなるのです。そんなのを引いていつたら、上方ベストテン位のところは特殊な事情がある。イギリスはカウントされない。利益は

**表4** 日・米・欧の大企業の自己資本利益率（2012年、%）

日本	製造業	4.6
	非製造業	6.3
	全体	5.3
米国	製造業	28.9
	非製造業	17.6
	全体	22.6
欧州	製造業	15.2
	非製造業	14.8
	全体	18.0

# 和歌山の地域おこし協力隊④



棚田のパンフ 紀美野町、小川地域棚田振興協議会から

紀美野町の地域おこし協力隊で「中田の棚田」再生に取り組んでいる。2年目の行年恭兵氏と1年目の清水康正氏に、応募した動機や活動についてお聞きしました。

## 協力隊員として 紀美野に来られた 動機は

山・紀美野町の移住ツアー  
に参加し、小川地域棚田振興協議会会長の北さんに棚田再生事業を誘われてとい

行年：広島出身で愛知の大

学で森林生態系を学び、自然の面白さを伝えたないと教科書会社に勤めたのですが、少し思いとは違った結婚を機に退社し、自然とかかわりのある生活を求めて移住を決意しました。広島と妻の故郷静岡との中間、和歌

清水：出身は兵庫ですが、

岡山の大学に行って、学生の時に岡山の中山間地域で棚田再生活動を東京からの協力隊の方がやつていてお手伝いしました。それが原

行年：ツアーリに参加した時

も、暖かいと言うか、気にかけてくれたり「お世話をよ」という方が結構いるよ」という方が結構多い。移住した時も役場の人も「困ったことないか、何でも手伝うよ」という感じで、移住しやすい環境が整っています。

清水：僕はいろんな所に住むことになれていて、どこでも抵抗なく暮らせるので快適に生活していますし、住んでいる地域の方ともよく話をしています。まあ溶け込んで生活できるのかなと思います。

色々して、普通に務める感じじじゃないな」と思い、協力隊で社会とか地域の課題を解決できたらといいと思いました。住んだことのないところに行きたい、でも北海道や東北はちょっと遠い、

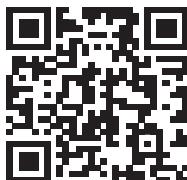
棚田再生、紀美野再生プロジェクトをやっていて、他にはイベントの企画とか。毎月

3年前位で、本当にどうなるのか思っている方もいるように聞いていますが、

## どんな活動を しているのですか？

## 今後の再生プランや 協力隊のネットワーク

中田の棚田  
再生プロジェクト  
公式HP



美野町の募集を見て応募しました。自治体に所属せず、業務委託という雇用形態も自由度が高く良かったと思っています。

## 印象とか どうですか？

の広報誌を作っています。小川地域は5地区、約370世帯ぐらいですが、棚田の周辺にはあまり人は住んでなくて、耕作者も昨年から一人になってしましました。棚田の歴史は古く、室町時代の高野山の文書に記録があり、元々ここには14町ぐらいの棚田はあったと研究者の方が言っています。再生は小川地域棚田振興協議会や「棚田サポートアーズ」ボランティアの方と一緒にやっています。田んぼは4畝(4a)程度ですが、今年は4反(40a)

にしたいと思っています。「棚田サポートアーズ」は和歌山市とか県外からも参加してくれています。イベントは2月に冬キャンプの予定だったのですが、コロナの状況で延期しました。落ち着いたら再度募集したいと思っています。

紀美野町内の協力隊員は、結構お互いに、作業を手伝ったりしていて、海南市の協力隊員とも交流があります。最近、地域おこし協力隊の県下のネットワークづくりが和歌山大学も関わって進んでいて、協力隊のOB、OGなど卒業して定住した先輩隊員と、接する機会も増えてきています。

地元の中田の方は、地域が昔の光景に戻るのを楽しみにしている方が多くて作業をしていても声をかけてくれます。ぼくらは、まだ、次の方がこの事業を引き継いでくれて、再生を続けてくれると思っています。地域で協力隊をすんなり受け入れてくれたのも、小川地区で別の事業をしていた先輩協力隊員のおかげだと思います。

第0世代ぐらいか、第1世代ぐらいでしょうね。また次の方がこの事業を引き継いでくれて、再生を続けてくれると思っています。地域で協力隊をすんなり受け入れてくれたのも、小川地区で別の事業をしていた先輩協力隊員のおかげだと思います。